



**2026年5月期 第2四半期(上期)
決算説明資料**

コーセル株式会社

2025年12月19日

2026年5月期 上期の実績ならびに通期の予想について
ご説明します。

2026年5月期 上期実績

まず、上期の実績についてご説明します。

売上高・営業利益

売上高・利益ともに前年同期比で減収減益

売上高

- ・国内は一部半導体製造装置向けは在庫消化が進んだが、FA・医療・計測機器関連は顧客の在庫消化が遅れ売上低調
- ・期初予想時の顧客在庫把握が不十分で、想定以上に受注回復時期が遅れ売上高が減少
- ・米国の関税政策の影響や中国景気の低迷長期化による先行きの不透明感から調整局面が継続

営業利益

- ・売上高減少により固定費を吸収できず営業利益減少

受注高

- ・生成AI用GPU半導体製造装置向けの受注は増加
- ・FA・医療・計測機器向けは大口顧客の在庫消化が遅れているが、その他顧客の在庫消化が進み緩やかに上昇

LITEON協業

- ・北米中心に拡販活動を進めた結果、新規顧客開拓に繋がった
- ・売上高には下期に計上される

期初の通期予想は、販売代理店在庫が減少傾向にあったため、上期は在庫消化が進み受注が緩やかに回復し、下期に本格回復基調に入ると想定していました。

結果として、次の理由で受注回復が遅れ、売上の減少となりました。

- ① 販売代理店からの出荷分が、顧客での過剰在庫になっていた。
- ② 当社製品のリードタイム改善に伴い、先行発注が必要なくなった。
- ③ 中国の景気低迷が継続。北米も関税変動の影響で様子見状態となった。

LITEON社との協業について、

北米市場において、上期に協業製品の新規3件の受注があり、売上は下期に計上される予定です。

上期の売上実績は期初予想に対して少なく、下期以降に挽回する見込みです。

新ブランドのCOSELSYNC.製品は、規格取得までに時間を要したため、本格的な拡販は下期となります。

共同開発の進め方などの課題もありましたが、現状ではおよそ道筋をつけることができました。

上期実績



売上高 国内は一部半導体製造装置向けは在庫消化が進んだが、FA・医療・計測機器関連は顧客の在庫消化が遅れ売上低調
営業利益 売上高減少により固定費を吸収できず営業利益減少

(単位：百万円)	FY2024	FY2025									
	上期実績	上期 期初公表予想	上期 実績			前年同期比		期初公表予想比		直前四半期比	
				1Q	2Q	増減	%	増減	%	増減	%
売上高	14,855	14,728	11,134	5,075	6,058	▲3,721	▲25.0%	▲3,593	▲24.4%	+983	+19.4%
売上総利益	4,048	4,087	2,597	1,297	1,299	▲1,451	▲35.8%	▲1,489	▲36.4%	+2	+0.2%
販管費	3,414	3,459	3,257	1,687	1,569	▲157	▲4.6%	▲201	▲5.8%	▲117	▲7.0%
営業利益	634	628	▲659	▲389	▲269	▲1,293	-	▲1,287	-	+119	-
営業利益率	4.3%	4.3%	▲5.9%	▲7.7%	▲4.5%	▲10.2pt	-	▲10.2pt	-	+3.2pt	-
経常利益	594	713	117	▲79	196	▲476	▲80.3%	▲595	▲83.6%	+276	-
経常利益率	4.0%	4.8%	1.1%	▲1.6%	3.2%	▲2.9pt	-	▲3.7pt	-	+4.8pt	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	278	406	▲6	▲68	62	▲284	-	▲412	-	+130	-
USD / JPY	152.11	145.00	147.22	145.38	149.08	▲4.89	-	+2.22	-	+3.70	-
EUR / JPY	165.77	162.00	170.54	167.20	173.93	+4.77	-	+8.54	-	+6.73	-
SEK / JPY	14.48	14.30	15.45	15.15	15.75	+0.97	-	+1.15	-	+0.60	-

為替感応度 営業利益（1円変動 / 年）
対USD：約20百万円
対EUR：約 6百万円

Copyright © 2025 COSEL CO.,LTD. All rights reserved.

2026年5月期 第2四半期 決算説明資料

4

上期の連結実績です。

売上高は111億3千4百万円となり、前年同期比で37億2千1百万円、25%の減収。

営業利益は、販管費の抑制などの努力をしましたが、売上高の減少が大きく影響し、▲6億5千9百万円の結果となり、前年同期比で12億9千3百万円の減益となりました。

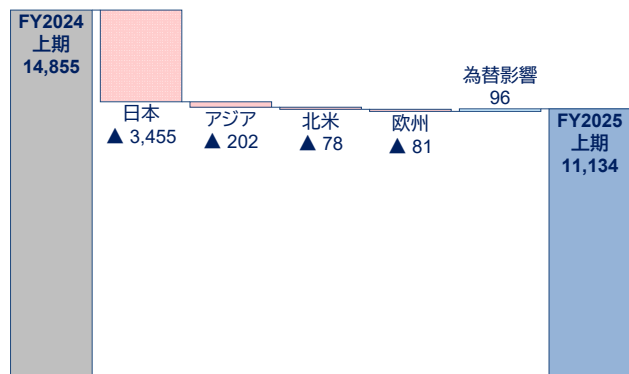
今年6月に公表しました期初予想と比較しましても、前年4Qからの業績改善には至らず、結果として減収減益となりました。

売上高増減[前年同期比・期初予想比]

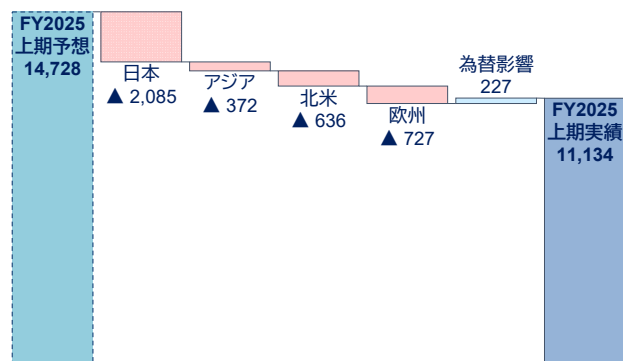
売上高 : 111億34百万円(前年同期比 ▲37億21百万円 ▲25.0%)
 日本 : 顧客の在庫過多により、受注回復が想定を下回り売上高が低調
 アジア : 中国の景気鈍化に加え、米中の関税動向の影響により需要の調整局面が継続
 北米 : 米国関税影響の顕在化による不透明感から、調整局面が継続
 欧州 : 米国関税影響の顕在化リスクにさらされ、顧客発注調整のため売上高が低調

(単位: 百万円)

前年同期比



期初予想比



売上高の増減要因です。

各地域での売上高が減少し、全般的に調整局面が続きました。

営業利益増減[前年同期比・期初予想比]



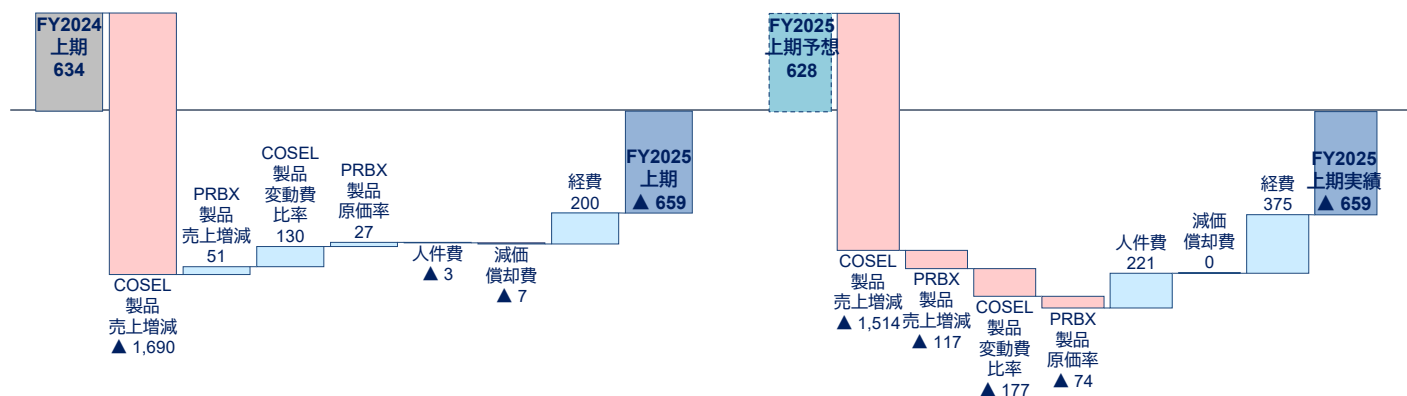
営業利益：▲6億59百万円(前年同期比 ▲12億93百万円)

・売上高の大幅な減少に伴い収益力が低下し、経費等の抑制に努めたが営業損失

(単位：百万円)

前年同期比

期初予想比



注) PRBX製品：スウェーデンに拠点を置く当社100%子会社 Powerbox International ABが、開発・製造・販売する製品群

営業利益の増減要因です。

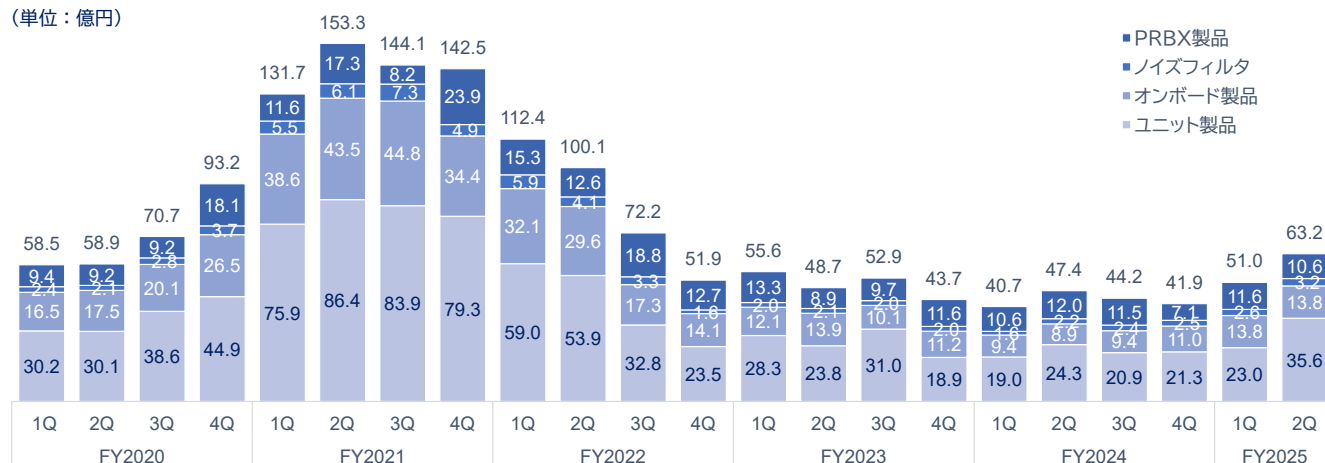
期初予想比のグラフでご説明しますが、売上の減少が一番大きく影響しました。

人件費や経費の抑制努力をしましたが、売上の減少に対応しきれずに営業利益は減益となりました。

受注高推移[製品別]

- ・過年度の受注増加の反動によりFY2022 4Q以降調整局面が続いたが、FY2025 1Q以降緩やかに回復
- ・生成AI用半導体製造装置向けの受注は増加
- ・FA・医療・計測機器向け大口顧客の在庫消化が遅れているが、その他顧客の在庫消化が進み緩やかに上昇
- ・LITEONとの協業は、北米中心に拡販活動を進めた結果、新規顧客獲得に繋がり下期に売上計上

(単位：億円)



注) PRBX製品：スウェーデンに拠点を置く当社100%子会社 Powerbox International ABが、開発・製造・販売する製品群

Copyright © 2025 COSEL CO.,LTD. All rights reserved.

2026年5月期 第2四半期 決算説明資料

7

製品別の受注高です。

過年度の受注増加の反動で、2022年度以降の調整局面が続き
顧客および販売代理店での流通在庫の未消化により
新規受注が減少していました。

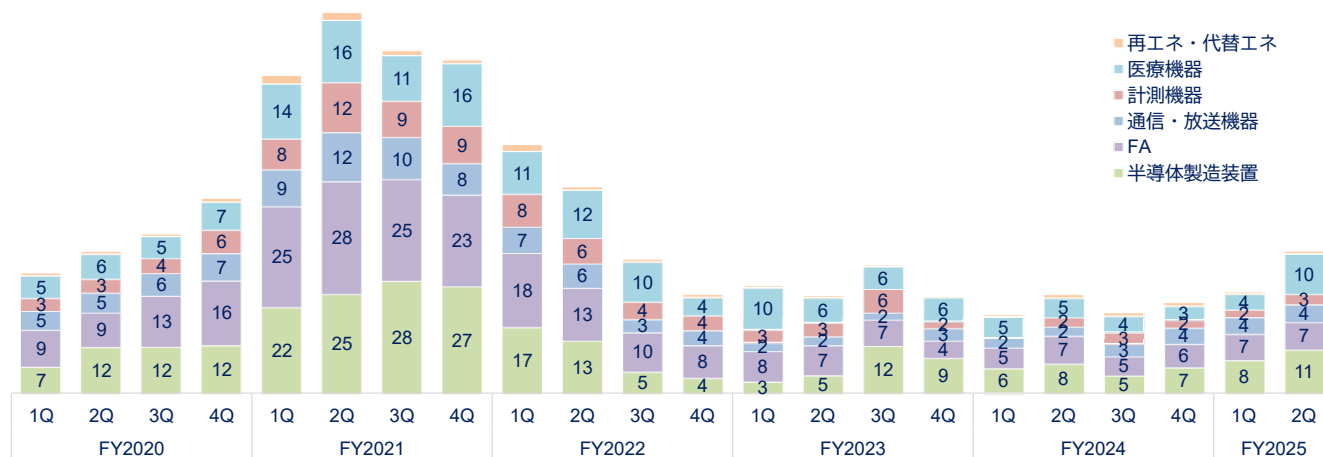
今期の1Qと2Qを見ますと、緩やかな回復基調を示しています。

受注高推移[主要業界別]

半導体製造装置向けに開発した「特定業界向け製品(顧客ニーズに特化して開発した製品)」が生成AI用途で好調なため受注増加

(単位: 億円)

主要6業界 受注高 (その他業界・PRBX製品除く)



注) PRBX製品: スウェーデンに拠点を置く当社100%子会社 Powerbox International ABが、開発・製造・販売する製品群

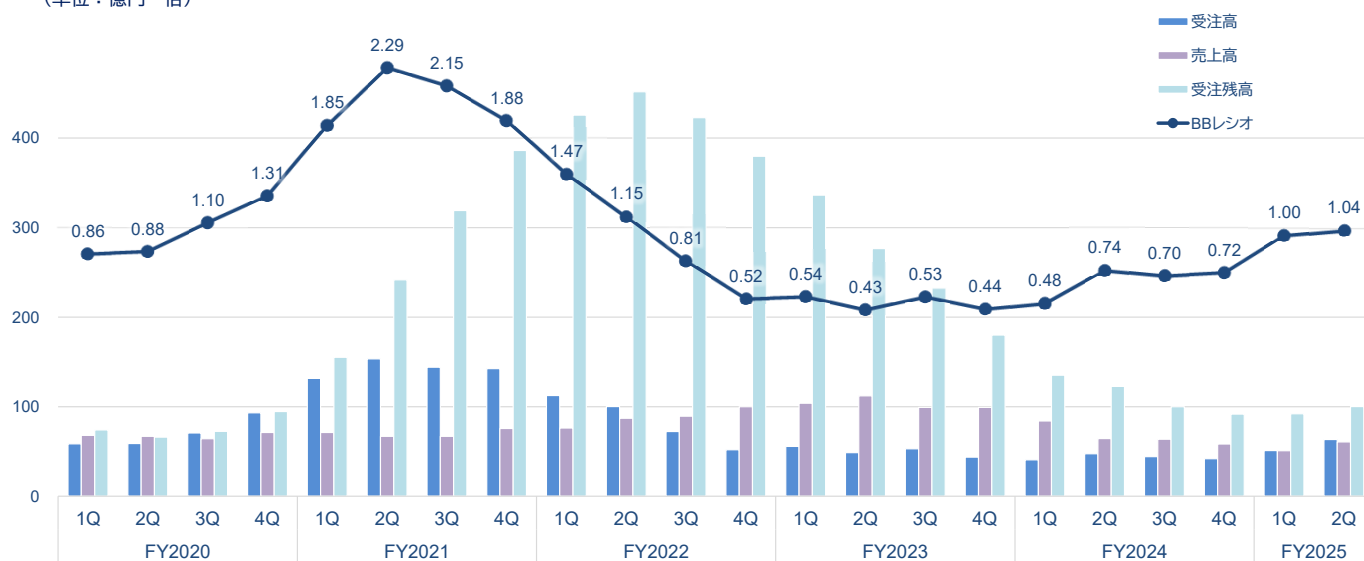
主要業界別の受注高です。

過年度の受注増加の反動により調整局面が続き、半導体製造装置や計測機器向けも継続して受注が低調に推移してきましたが、今期1Qと2Qは段階的に増加しています。

特に半導体製造装置向けの増加は、その顧客装置メーカーの製品が生成AI用のメモリ製造メーカー向けに好調なことが理由です。

受注高・受注残高・BBレシオ推移

(単位：億円・倍)



Copyright © 2025 COSEL CO.,LTD. All rights reserved.

2026年5月期 第2四半期 決算説明資料

9

受注高・受注残高・BBレシオのグラフです。
今期1Qから、BBレシオが1倍を超える水準に戻ってきました。

連結貸借対照表



総資産 599.93億円(▲4百万円) 自己資本比率 92.6%(▲0.5pt)
 現預金 294.01億円(+16億12百万円) 棚卸資産 101億73百万円(▲10億65百万円)

(単位:百万円)	2025年5月期 (2025/5/20)	2026年5月期2Q (2025/11/20)	増減		2025年5月期 (2025/5/20)	2026年5月期2Q (2025/11/20)	増減
現金及び預金	27,789	29,401	1,612	買掛金	1,027	980	▲ 46
受取手形及び売掛金	5,664	5,471	▲ 192	未払金	360	464	104
電子記録債権	1,517	1,343	▲ 174	流動負債 計	2,830	2,932	101
棚卸資産	11,239	10,173	▲ 1,065	繰延税金負債	793	1,026	232
流動資産 計	47,760	47,426	▲ 333	固定負債 計	1,331	1,509	178
有形固定資産	7,268	7,543	274	負債 合計	4,162	4,442	279
無形固定資産	1,040	1,072	31	株主資本	54,020	52,862	▲ 1,157
投資その他の資産	3,927	3,951	23	その他の包括利益累計額	1,816	2,689	873
固定資産 計	12,237	12,566	329	純資産 合計	55,836	55,551	▲ 284
資産 合計	59,998	59,993	▲ 4	負債・純資産 合計	59,998	59,993	▲ 4
				自己資本比率	93.1%	92.6%	▲0.5pt

Copyright © 2025 COSEL CO.,LTD. All rights reserved.

2026年5月期 第2四半期 決算説明資料

10

貸借対照表の概要です。

総資産は599億9千万円、自己資本比率 92.6%です。

現預金は、16億1千万円の増加、

棚卸資産は、在庫消化により10億6千万円の減少となりました。

現預金の増加については、今後のM&Aを含めた資金使途を見極めて
 いる状況であり、今後、具体的な事案が発生する際には
 速やかに公表します。

2026年5月期 通期予想

2026年5月期、通期の業績予想についてご説明します。

通期予想

通期予想 売上高 241.1億円(前回予想比▲92.0億円)
営業利益 ▲8.1億円(前回予想比▲34.4億円)

(単位: 百万円)	〔前回 6月18日発表〕 FY2025			〔今回 12月19日発表〕 FY2025			前回予想比 増減		
	上期予想	下期予想	通期予想	上期実績	下期予想	通期予想	上期	下期	通期
売上高	14,728	18,597	33,325	11,134	12,985	24,119	▲3,593	▲5,612	▲9,206
営業利益	628	1,998	2,626	▲659	▲155	▲814	▲1,287	▲2,153	▲3,440
営業利益率	4.3%	10.7%	7.9%	▲5.9%	▲1.2%	▲3.4%	▲10.2pt	▲11.9pt	▲11.3pt
経常利益	713	2,080	2,793	117	▲69	47	▲595	▲2,149	▲2,746
経常利益率	4.8%	11.2%	8.4%	1.1%	▲0.5%	0.2%	▲3.7pt	▲11.7pt	▲8.2pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	406	1,501	1,907	▲6	36	30	▲412	▲1,465	▲1,877
USD / JPY	145.00	145.00	145.00	147.22	150.00	148.61	+2.22	+5.00	+3.61
EUR / JPY	162.00	162.00	162.00	170.54	175.00	172.77	+8.54	+13.00	+10.77
SEK / JPY	14.30	14.30	14.30	15.45	15.70	15.58	+1.15	+1.40	+1.28

2026年5月期、通期予想の概要です。

売上高は241億1千9百万円、
営業利益は▲8億1千4百万円、営業利益率▲3.4%、
当期純利益は3千万円を見込んでいます。

前の受注高推移ページでご説明しましたが、その受注の多くが売上に
結び付くのは、今期の下期以降になります。

下期以降の事業方向性



下期

- ・事業ポートフォリオを見直し、新製品開発の組織再編
- ・収益改善に向けたさらなる経費削減
- ・新製品拡販強化のため、製品ラインナップとカスタマイズ強化
- ・LITEONとの共同開発体制強化
- ・上海科素商貿有限公司(SCIT:貿易業務)を、経営の最適化・業務の効率化のため無錫コーセルへ移管し、SCITを今後速やかに解散(11月4日公表)

来期(FY2026)

- ・次期中期経営計画の実現に向けた抜本的な構造改革実施
- ・収益改善に向けた成長分野への選択と集中
- ・新分野参入に向けた、積極投資と再エネ関連製品の量産化移行
- ・コスト構造改革に向けた、固定費削減とデジタル化推進による生産性向上
- ・COSEL VIETNAM(トランスの製造販売)を、経営の最適化及びサプライチェーン強化のため今後速やかに解散(12月19日公表)

LITEON協業

- ・共同開発製品(COSELSYNC.)の拡大に向け、ラインナップ拡充を加速
- ・COSELSYNC課を新設し、LITEON社との技術連携と共創強化(開発人員増強)

下期以降の事業の方向性についてご説明します。

前ページのスライドの通り、下期も上期に続き厳しい状況となりますが、売上高・利益ともに改善する見込みです。

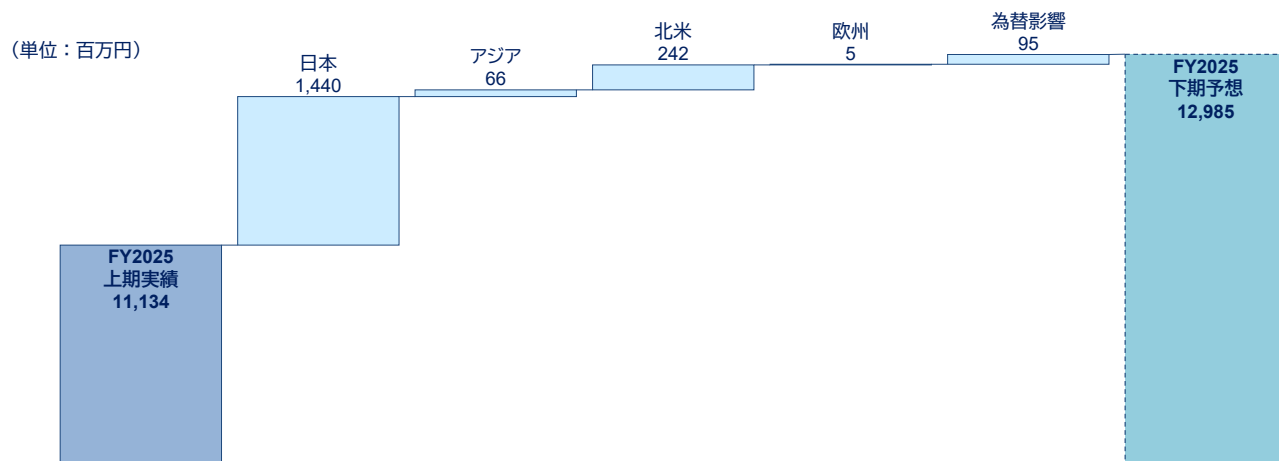
それを踏まえ、事業ポートフォリオの見直しによる新製品開発組織を再編し、併せて経費削減などの利益改善に取り組みます。

新たな中期経営計画のスタートとなる来期は、その実現に向けた抜本的な構造改革を進め、収益改善に向けた半導体製造装置などの成長分野への選択と集中、新分野参入に向けた積極的な投資を行っていきます。

また、LITEON社との協業については、共同開発体制の強化に向け、COSELSYNC課を新設し、共同開発製品のラインナップ拡充を進めます。

下期売上高予想

下期売上高:129.8億円(前回予想比 ▲56.1億円)
・受注は回復基調にあり、売上高は緩やかに増加



下期の売上高予想です。

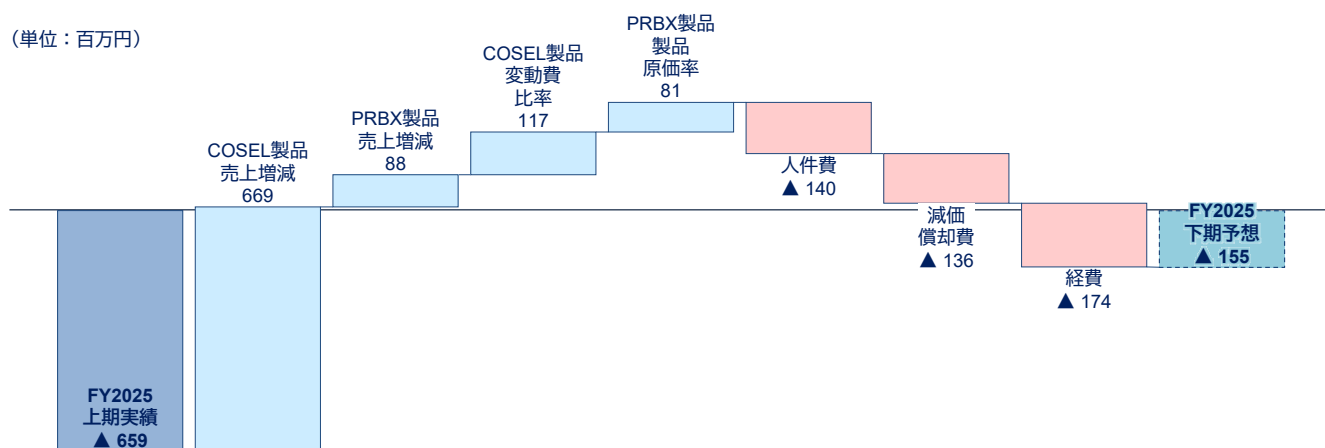
受注は回復基調にあり、売上高は緩やかに増加するものと見込んでいます。

下期営業利益予想

下期営業利益：▲1.5億円(前回予想比 ▲21.5億円)

・売上高は緩やかに増加し、上期比改善。下期も引き続き経費削減に努める。

(単位：百万円)



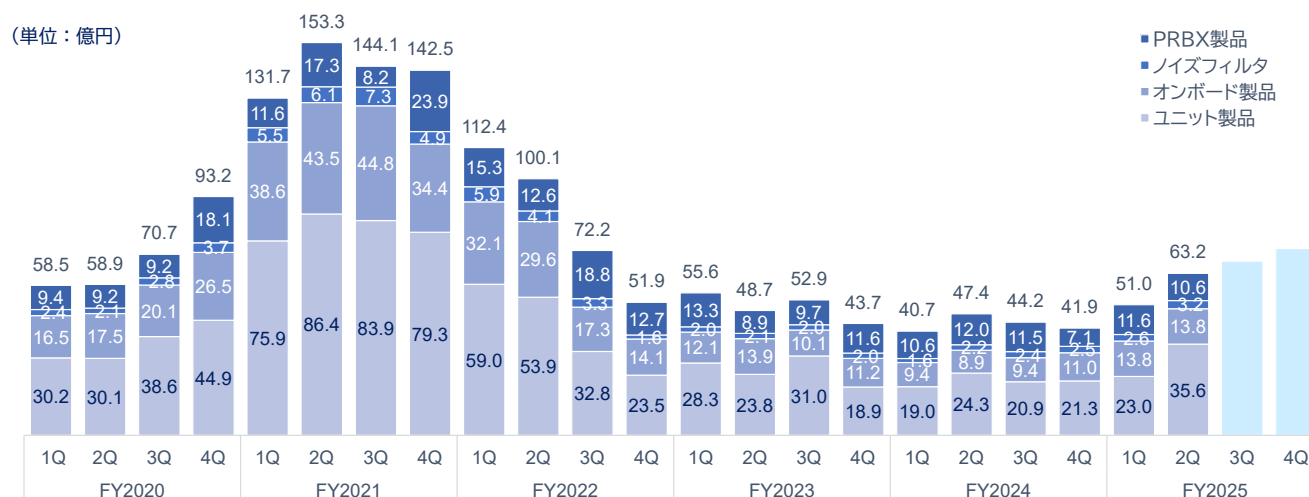
下期の営業利益予想です。

売上高が緩やかに増加することにより、営業利益は上期比で改善する見通しです。

受注見通し

下期受注:顧客の在庫消化と半導体関連向けを中心に徐々に上向く

- ・新規案件創出
- ・LITEONとのクロスセル拡大、COSELSYNC.製品の拡販



Copyright © 2025 COSEL CO.,LTD. All rights reserved.

2026年5月期 第2四半期 決算説明資料

16

下期の受注見通しです。

既存顧客からの受注増加、加えてLITEON社とのクロスセル拡大とCOSELSYNC.製品の拡販を根拠とした受注増加を見込んでいます。

既存顧客（半導体製造装置・FA機器・計測機器）の受注増加は、販売代理店と顧客在庫把握の結果をもとに、主要顧客の受注回復時期の精緻化を行い、変動の大きい半導体製造装置メーカーとのフォーキャスト情報を常に更新していきます。

新規案件の創出については、案件フォローと確実に採用につなげるための短納期対応を行います。

LITEON社とのクロスセル拡大、COSELSYNC.製品の拡販は、北米市場を中心とした引合い案件のフォロー、顧客ニーズに応じたフレキシブルなカスタマイズ対応、サービスの強化を図ります。

新製品開発による業績改善



- ・FY2025上期実績では、新製品の限界利益率が既存製品よりも高い
- ・新製品寄与率が高くなると、全体の限界利益率が上昇

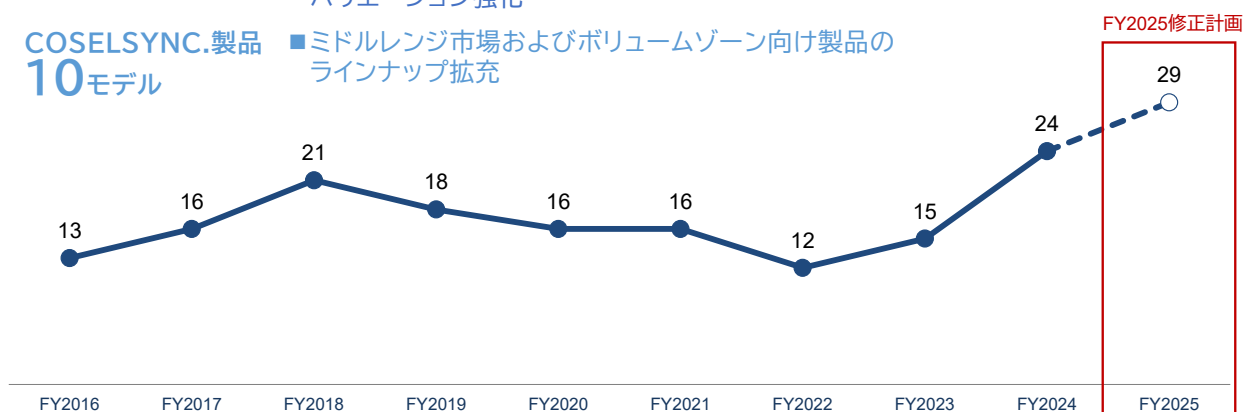
FY2025 新製品開発計画

COSEL製品
19モデル

- 従来製品の後継モデルを市場投入し、製品の新陳代謝促進
- 新製品の拡充モデルを開発し、製品ラインナップおよびバリエーション強化

COSELSYNC.製品
10モデル

- ミドルレンジ市場およびボリュームゾーン向け製品のラインナップ拡充



Copyright © 2025 COSEL CO.,LTD. All rights reserved.

2026年5月期 第2四半期 決算説明資料

17

今期の新製品開発計画です。

コーセル単独製品を19モデル、COSELSYNC.製品は10モデルの開発を行い、速やかに市場に投入する計画です。

新製品を開発する目的は、市場ニーズに合わせた製品の拡充および、従来モデルからの置き換えによる部材調達の容易さや原価低減などを目指しています。

COSELSYNC.製品10モデルについては、価格競争が厳しいミドルレンジ市場向けの製品をLITEON社とともに開発中であり、詳細については適切な時期に公表します。

LITEONとの協業

LITEON社との協業についてご説明します。

「COSELSYNC.」の位置づけ・ターゲット市場



新ブランド「COSELSYNC.」でミドルレンジ市場を攻略する
3年後の売上目標50億円



Copyright © 2025 COSEL CO.,LTD. All rights reserved.

2026年5月期 第2四半期 決算説明資料

19

ターゲット市場はミドルレンジ市場で、今まで当社が攻めきれなかった領域を、COSELSYNC.製品としてカバーするものとなります。

3年後の売上目標は50億円を目指しています。

新ブランド「COSELSYNC.」でミドルレンジ市場を攻略する
3年後の売上目標50億円

拡販

・当社が開拓できなかったボリュームゾーンであるミドルレンジ市場において、今後の新規顧客の開拓につなげるため、先行で拡販している北米市場の成功事例を各地域に展開

開発

・標準電源の拡販に向けて、製品ラインナップ拡充を推進
・当社の開発リソースを強化し、COSELSYNC.製品の開発スピードアップを図る

製品の拡販について、当社が今まで開拓できなかったボリュームゾーンであるミドルレンジ市場において、今後の新規顧客の開拓につなげるため、先行で拡販している北米市場の成功事例を各地域に展開していきます。

また開発においては、標準電源の拡販に向けて、製品ラインナップの拡充を進めます。

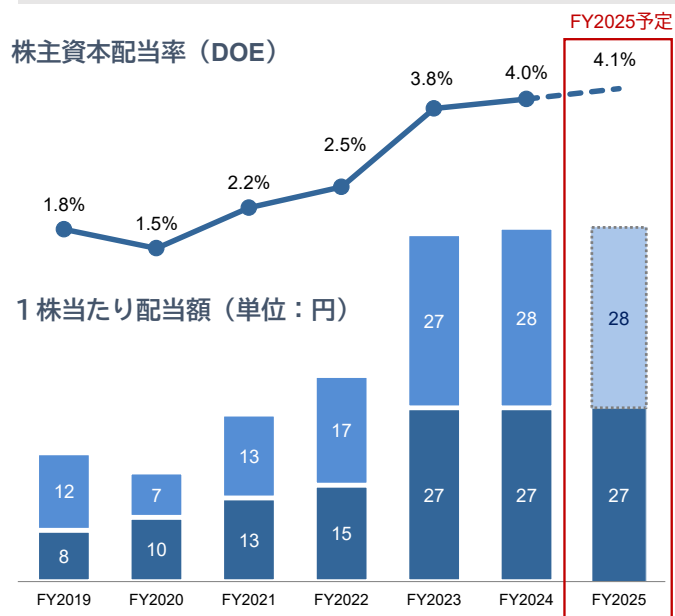
そのために、当社の開発リソースを強化し、開発スピードアップを図ります。

株主還元

最後に、株主還元についてご説明します。

株主還元（配当金）

2026年5月期は年間55円の配当とさせていただきます予定



2026年5月期(FY2025) 配当金
(1株当たり)

中間配当 27円(2026年2月上旬予定)
 期末配当 28円(2026年7月下旬予定)
 年間配当 55円

Copyright © 2025 COSEL CO.,LTD. All rights reserved.

2026年5月期 第2四半期 決算説明資料

22

2026年5月期の中間配当につきまして、以前に公表しておりました配当予想を変えず、1株あたり27円とさせていただきます予定です。

また、期末配当につきましても、以前の公表と変えず28円とし、今期の年間配当は55円とさせていただきます予定です。

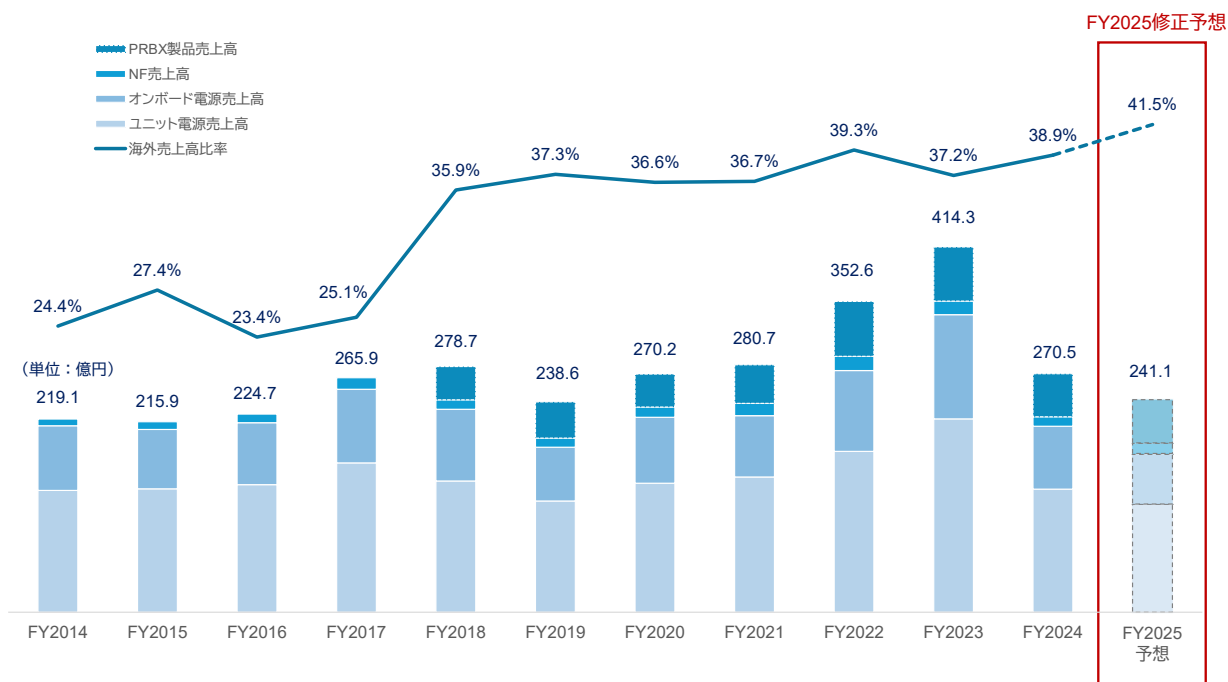
参考資料

四半期業績推移

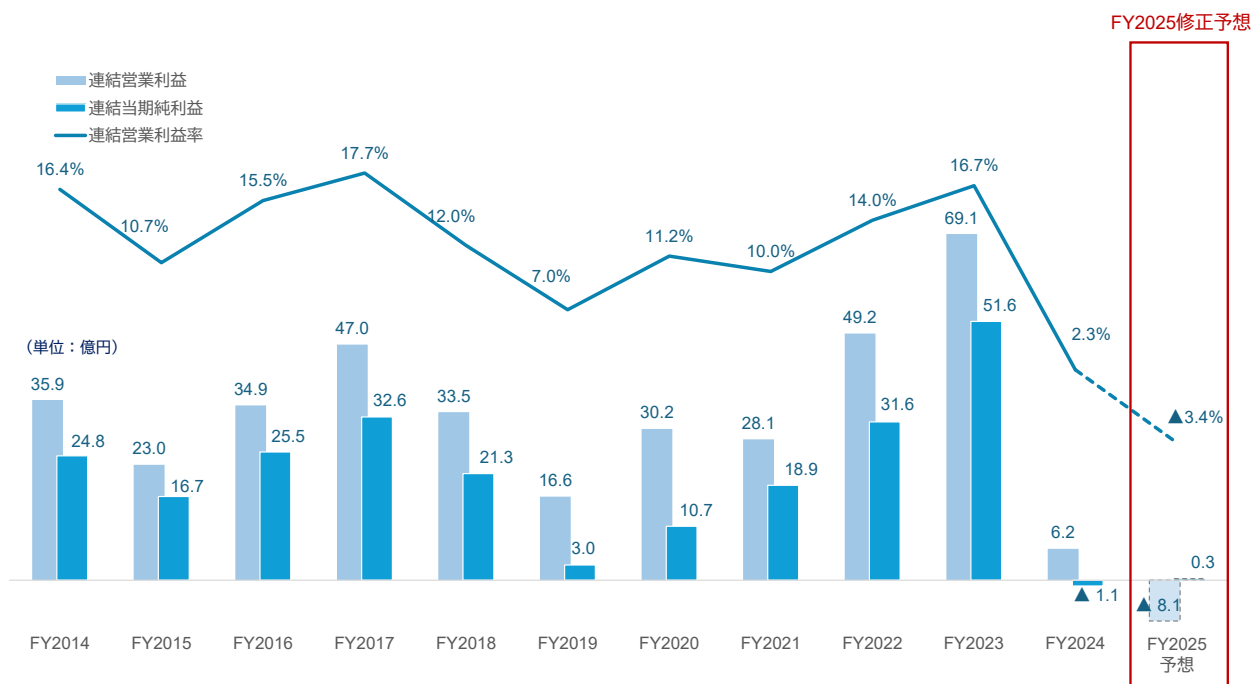


(単位：百万円)	FY2023				FY2024				FY2025	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	10,390	11,211	9,919	9,915	8,409	6,445	6,361	5,835	5,075	6,058
売上総利益	3,593	3,830	3,380	2,939	2,437	1,611	1,667	1,491	1,297	1,299
販管費	1,529	1,675	1,607	2,018	1,859	1,555	1,571	1,593	1,687	1,569
営業利益	2,063	2,154	1,772	921	578	55	95	▲102	▲389	▲269
営業利益率	19.9%	19.2%	17.9%	9.3%	6.9%	0.9%	1.5%	▲1.8%	▲7.7%	▲4.5%
経常利益	2,268	2,629	1,824	1,126	464	129	45	101	▲79	196
経常利益率	21.8%	23.5%	18.4%	11.4%	5.5%	2.0%	0.7%	1.7%	▲1.6%	3.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,682	1,856	1,118	511	293	▲14	2	▲395	▲68	62

連結売上高・海外売上高比率



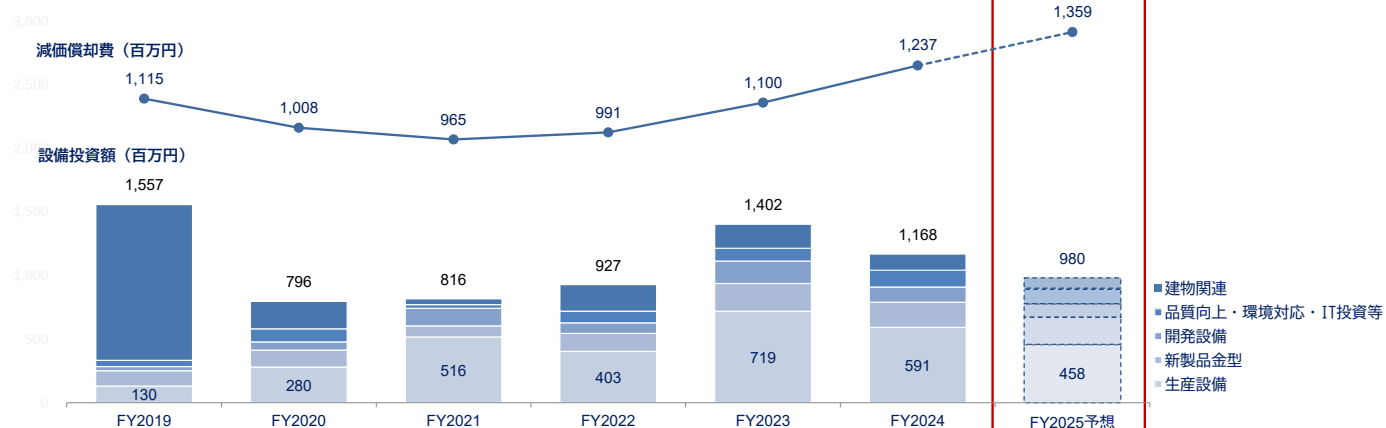
連結利益



設備投資・減価償却費



FY2025修正予想



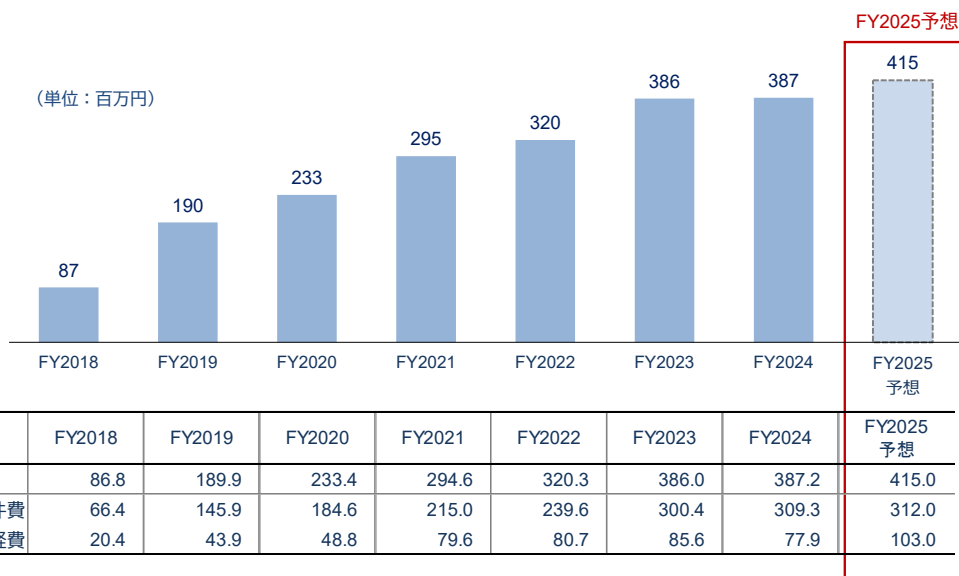
設備投資の主な内容	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025予想
生産設備（増産・更新）	403	719	591	458
（うち、中国生産設備）	81	52	192	13
新製品開発に伴う金型製作	142	217	198	214
開発用試験装置、測定機器設備	83	177	119	107
品質向上・環境対応・IT投資等	92	101	133	121
開発棟・工場など建物関連	208	189	127	81

FY2024・2025
基幹システム・ソフトウェア投資を含む

研究開発費

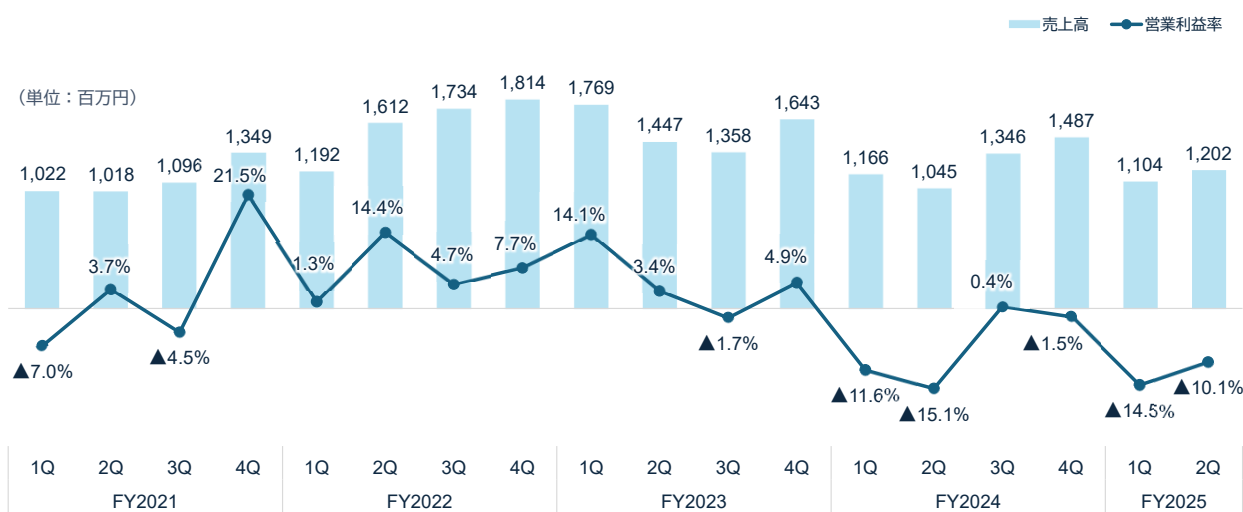


(単位：百万円)



単体：研究開発費（製・販）+研究室の費用
 無錫：開発部署の費用
 PRBX：技術資産の増加分 *FY2019～

PRBX四半期業績推移



PRBX：スウェーデンを拠点として電源開発・製造・販売する当社100%子会社 Powerbox International AB



【将来に関する記述についての注意事項】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。